



# 新大阪ロータリークラブ

創立 昭和60年5月8日

<http://www.shin-osakarc.jp>

- 事務局 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15 新大阪フシントンホテルプラザ  
TEL:06-6305-1010/FAX:06-6301-2525/E-mail: shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
- 例会 毎週水曜日12時30分 新大阪フシントンホテルプラザ(TEL:06-6303-8111)
- 会長/横山 洋一郎 幹事/北野 克美 会報委員長/村木 茂 会報副委員長/森田 智博

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

No. 1362

Date 2014.4.2

### \*\*\* 四つのテスト \*\*\*

言行はこれに照らしてから

1. 『真実』かどうか
2. みんなに『公平』か
3. 『好意』と『友情』を深めるか
4. みんなの『ため』になるかどうか

### \*\*\* ロータリーの綱領 \*\*\*

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善の平和を推進すること。

### <本日のプログラム>

#### 第1362回例会/2014年4月2日

#### 本日の挨拶

チャオ・アム(相手男性) Chào anh  
チャオ・チ(相手女性) Chào chi  
(ベトナム語)

#### 標語

「Engage Rotary Change Lives」  
「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」

#### 増強のための標語

「力を合わせて50名 一奉仕の輪を広げよう」

#### 国歌斉唱「君が代」

#### ロータリーソング「友ら集いて」

春うららかに 風かおる  
世に正しきをきづかんと  
友ら集いて いざ語らん  
真実の道 ロータリー



#### 卓話

第8回クラブフォーラム  
友好クラブ小委員会  
谷口 光夫 委員長

### 第1361回例会報告 (3月26日)

- 司会進行 SAA 安井会員
- ロータリー・ソング SAA 三島会員



- 出席者報告 SAA 安井会員

第1361回例会 2013年3月26日	
会員数 33名	出席率 78.79%
出席数 22名	欠席数 7名
第1360回例会(3/19)	
メークアップ 4名 修正出席率 90.91%	
3/15 中川会員	3/22 山根会員
3/15 三島会員	
3/15 吉田会員	

力を合わせて50名一奉仕の輪を広げよう

■会長の時間

会長 横山 洋一郎  
2014.3.26



皆さんこんにちは

昨日、3月22日に台中「金典酒店(The Splendor Hotel)」で行われました、「台北中興ロータリークラブ22周年式典」に総勢14名で、出席してまいりました。

当日、式典に参加されたメンバーまた奥様方お疲れさまでした。特に、谷口会員には、渡航手配から現地スケジュール調整までしていただき、大変お世話になりました。

改めて、お礼申し上げます。

式典当日は、朝の9時に台北のホテルから、中興 RC のメンバー・家族と一緒にバスにて、台中にあります海運業を行っている、中興RCの次年度会長(Allen)の台中ブランチを見学し、その後、台北中興 RC の友好クラブの台中ロータリークラブの林さんの鉄器工場(船舶のスクリューと日本の南部鉄器と同じような工芸品を作られています)を見学してまいりました。

式典では、ダンス教室をされている、会長張進徳(Professor)夫人の振付によります、メンバー奥様方のチャイナドレスショー・ラインダンスショー、メンバーによるカウボーイダンスショー、台北中興 RC で面倒を見ておられる子供たちによるオカリナ演奏等々、手作りの式典を、台北中興 RC・友好クラブの台中中興 RC のメンバーと家族で時間を忘れて楽しんでまいりました。

翌日は、私夫婦と、村角夫妻だけでしたが、普段は一般には、内部までは公開していないという、19世紀半ばから台湾中部の田地を経営し、数千の兵を抱え、樟脳の専売権を得るなど、清朝統治時代の台湾で最も影響力のある家族であった、台湾五大家族の一つ、霧峰林家(むほうりんけ)の私邸の「大花庁」を台中中興 RC 様の案内で見せていただきました。

現在修復中だとのことですが、中にあります私的演舞場や迎賓館のその美しさ財力に共感いたしました。修復が終了したら、是非とももう一度見せて頂きたいものです。

昼からの、会長張進徳(Professor)が教授を務められている、亜州(あしゅう)大学にある安藤忠雄(あんどう ただお)設計の美術館には帰りの飛行機の関係で、行けなかったのは残念でした。

最後に、来年度当クラブ30周年について、大いに PR させていただき、台北中興ロータリークラブメンバー一同是非とも出席させていただきますとの返答を頂きましたので、生尾会長エレクト30周年は大いに盛り上がると思いますので、大変だとは思いますが、アテンドよろしくお願ひいたします。

■災害復興P義援金報告 3月26日 1,000円



ポール・ハリス・フェロー BOX

生尾会員

本日の合計	5,000 円
今年度累計	125,000 円



米 山 ボ ッ ク ス

生尾会員

本日の合計	5,000 円
今年度累計	141,000 円



ニコニコ箱 報告

■SAA

吉田 会員

- 北野会員 台湾旅行おつかれさまでした。
- 田中会員 大石様、レディースサロンありがとうございました。
- 中川会員 前回欠席のおわび。
- 花原会員 レディースサロン&ターナー展大石さん、田中さん大変お世話になりました。栄養と教養でお腹が一杯になりました。
- 森田会員 神戸美術館楽しかったです。有難うございました。
- 横山会長 谷口さん、台湾では、何から何まで大変お世話になりました。

## ■幹事報告

幹事 北野 克美

- ・地区よりラジオ大阪「あなたのそばにロータリー」のお知らせが届きましたので、皆様のメールボックスに配布しております。放送予定をご確認の上、是非お聴き下さい。
- ・先日お知らせしました通り、本日臨時総会を行いますのでよろしくお願い致します。
- ・例会予定が変更になっています。週報の裏表紙に載せておりますのでご確認下さい。



## 委 員 会 報 告

### ■親睦活動小委員会

田中 宏 委員長

レディースサロンの会計報告。¥9,500 余りました。レディースサロンの予算として残しておきます。

### ■社会奉仕委員会

花原 昭弘 委員長代理

4月10日(木)午後3時30分より新大阪駅コンコースで大阪府警音楽隊の演奏があります。当日、当クラブで作成しましたタックルベルトを配布します。御参加よろしくお願致します。

### ■4月のバースデーロータリアン



## 卓 話

「天皇について」

横田 静雄 会員



本日「卓話」を仰せつかりました、“横田静雄”です。過日、「天皇について」と題して！何か話せと言う打診を頂き、快諾はしたものの、今は戸惑って居ります。本年10月18日(土)のIMには、本家本元の竹田恒泰先生の講演が控えている最中であり、何をお話すれば良いのやら、検討がついておりません。多分にお耳汚し以外の何物でもないでしょう。しかも、時間に限りがございます。出来得る限り冗長を避け、多少の余聞は交え「古事記」を介して、私の出来る範囲でお話をしたいと思います。暫くの間、お耳付き合いのほど宜しくお願いします。

さて、「戦後教育の最大の忘れ物」といわれている、神話と伝説。世界のどの国にも、自分達の国がどのようにして生まれたのか、その意義を語り継ぐ神話や伝説があります。「神話を大切にしない民族は滅びる」と断言する専門家もいます。それが、竹田先生であります。先生は続けます、憲法の根拠は「記紀」にあるといえる。大日本帝国憲法が發布された明治22年以前、日本に成文憲法はなかったが、天皇がいかなる経緯で誕生し、継承されたのか、と言うことを記したのが「記紀」であり、不文憲法としては存在した。このことは大日本帝国憲法で初めて、明文化され『大日本帝国は万世一系の天皇 これを統治す』と、第一条で記しました。この第一条というのは、どの国の憲法でも、国家や民俗にとって最も重要な基本原理が書かれているのであると。

“古事記”序の第二段に於いて、「朕(われ)聞く、諸家の賣(も)てる帝紀および本辞、すでに正実に違ひ、多く虚偽を加ふと。今の時に当たりて其の矢(あやまり)を改めずは未だ幾年を経ずして其の旨滅びなむすと。是即ち『邦家の経緯、王化の鴻基』なり。故(かれ)、これ帝紀を撰録し、旧辞を討覈(たうかく)して、偽りを削りて後葉(のちよう)に流(つた)とえむと欲(おも)う。天武天皇は、神代史や古代の物語を、政治や道徳を示すものとして重要した。即ち、国

家の基本原理を明確にし、天皇政治の基本を声高らかに唱えられたのである。竹田先生の論述は“古事記”のこの部分を引用したものと推察するのです。

## ◎説明

◇邦家の経緯:「経緯」は織物の縦糸と横糸。国家組織の原理のこと。

◇王化の鴻基:天皇政治の基本の意

また、天皇を象徴としている現在の憲法も、その精神に変わりはありません。ここで「記紀」と言うのは一括りにされがちな古事記と日本書紀を言います。飛鳥時代の天武天皇が編纂を命じた「最古の歴史書」といわれるが、背景や目的は大きく異なり、古事記が「古(いにしえ)の事を記す一方、日本書紀は、「日本諸」の「本紀」の事で、日本の歴史を年代順に書いた。「記」・「紀」と幹事が微妙に異なるのは、記録手本気のちがいによるものであります。

## ◎余聞編

第62回式年遷宮が！編成25年10月2日には、皇大神宮(内宮)で、同5日には豊受大神宮(外宮)で、「遷御」の儀式が行われました。この儀で、「鶏鳴三声」が行われ、神職が「カケコー・カケコー・カケコー」と発すると、勅使が「出御」の声をかける。大御神様を、新宮(にいみや)に遷(うつ)す行列が動きだします。

◇天岩屋戸開きを彷彿とさせる儀式です。天岩屋戸の前では「長尾鶏を集め鳴かせました。

鶏の声は、邪気を払い太陽を呼ぶとされたのです。

天皇に代わって天照大神様を祭ったのが斎王。天皇一代につき一人、飛鳥時代から南北朝の96代後醍醐天皇の治世まで置かれたとされる。また、天皇の勅旨を受けて、天皇に代わり祭事を司る役目が神宮祭主です。戦後の祭主は、皇族出身の女性が就いています。現在は、昭和天皇の四女池田厚子さまがお努めになられていますが、ご高齢のため、式年遷宮に万全を期すため臨時祭主に今上陛下のご長女「黒田清子さま」が平成24年4月26日に就任されました。一

それでは「自分たちの国が、どのようにして生まれたのか？」これより、「古事記の世界」へと誘って参りたいと思います。

## ①淤能碁呂島(おのごろしま)と二神の国生み

ここに天(あま)つ神諸(もろもろ)の命(みこと)もちて、イザナキ(男神)イザナミ(女神)。二柱の神に「このただよへる国を修め理(つくり)固め成せ」と詔(の)りて、天(あめ)の沼矛(ぬぼこ)賜(たま)ひて、言依(ことよ)さしたまひき。二神が「天の沼矛」で海をかき回すと、矛の先から垂(した)り落つる塩、積もりて島と成りき。これ「淤能碁呂島(おのごろしま)」なり。その島に天降(あも)りまして、天(あめ)の御柱(みはしら)を往き回ること先の如し。

「あなにやし、えをとめを(なんと綺麗な女性でしょう)」

「あなにやし、えをとめを(なんと素敵な男性でしょう)」と言き。かく言ひ竟(そ)へて、御合(みあひ)して生みし子は、真(ま)っ先に生まれたのが淡路島(淡路之穂之狭別島[淡路の穂の沢家の島])。続いて生まれたのは四国(伊予之二名島[伊予の二名の島])。隠岐島(隠岐の三子島[沖の三つ子の島])。九州(筑紫島[つくしの島])。壱岐(伊岐島[壱岐の島])。対馬(津島)。佐渡(佐渡之島)。近畿(大倭豊秋津島[おおやまととよあきつしま])を生みき。故(かれ)、この大八島国(日本)と言う。ただ畿内以東について語られていないのは、政権の統治外だった為と考えられます。神話は、古代の政治地図の姿を資料でもあるのです。

京都大学名誉教授中西輝政氏は言います。「今の日本人はどんな国に生まれ、日本はどんな国なのかという『背景』を失っている。神話は時代を担う子供たちにとっても、夢や自信、祖先や国土への思いを育んでくれる教材なんです！」と。竹田先生の言葉に通じるものがあります。

## ②黄泉の国「死生観、現在への継承」

イザナミは火の神を生んだ際の火やけどがもとで死ぬ。嘆き悲しんだイザナキはイザナミを追って黄泉の国を訪れる。共に帰ろうとするイザナキに対してイザナミは「黄泉の国の食物を食べたので戻れないが、この国の神に頼んでみる。その間、決して私の姿を見ないで欲しい」と告げ、館に入った。イザナキは待ちきれず、覗くとそこには蛆(うじ)にたかられ、雷神に憑かれた恐ろしいイザナミの姿があった。イザナキはホウホウの体で逃げ戻り、イザナキの体についた穢れを洗い流すと3人の神が生まれた。

一のちの物語を紡ぐ、天照大御神・月読命・須佐之男命だ。一

不実の振る舞いに起こったイザナミやその追手に追いつかれたイザナキは、イザナミを封じ込めるためこの坂(黄泉比良坂(よもつひらさか)＝現世と読みの国の境)に千引の岩を据えた。この神話は、横穴式石室を持つ古墳での、葬送儀式を連想させます。現世に戻った際、イザナキが禊を行う記述は古事記編纂期には、すでに死を不浄のものとして切り離す考えが為されていたことが窺えます。また、石室内の石棺や副葬品の馬具などが破壊されていたが、盗掘によるものではなく、死後しばらくしてから死者が蘇ったり祟りを起こさない様に行われた儀式だと確認され「古代の人々の生と死を分かち儀式が、神話の中には実に巧みに刻みこまれているのです。」

## ③天照大御神と須佐之男命「太陽信仰と祈りの原点」

天照大御神が治める高天原(たかまがはら)を訪れた弟の須佐之男命は、御殿に汚物を撒き散らすなど悪行を繰り返す。その所業に怒ったアマテラスは天岩屋戸にこもる。アマテラスが天岩屋戸に隠れたため、ありとあらゆる災いが起きたが、八百万の神はなす術がなかった。この表現には、太陽は掛け替えのない唯一のものと印象づける。さらに、闇が高天原だけでなく人々が暮らす葦原中国(あしは

らなかつくに)にも及んだという。この記述はアマテラスが天上界と地上界を貫く存在と強調する。アマテラスの絶対視には、皇統の正当性を強調する狙いも見えます。「うけ伏せて踏みとどろこし、神懸りして」天岩屋戸にこもるアマテラスの関心を引くため、アメノウズメノミコが踊った様子を古事記はそう記す。(桶を伏せて踏み鳴らし、神が乗り移ったような状態になり)と言う意味である。古代の人々にとって、音は特別なもの。楽器は日々の生活では必要のない物。祭祀用具的に作ったのでしょう。アメノウズメの踊りは、神楽(かぐら)の起源といわれ、天岩屋戸神話は、日本人の祈りの原点を色濃く伝えるものなのかも知れません。

#### ④天照大御神と須佐之男命「神器と和歌を生んだ英雄」

悪行のために高天原を追放された須佐之男命が出雲に降り立つと、年老いた夫婦と美しい娘がむせび泣いていた。理由を聞くと、毎年、ヤマタノオロチがやってきて、一人ずつ食べ、今年にクシナダヒメが犠牲になるという。スサノオはヒメを妻とすることを条件に、ヤマタノオロチ退治を約束。古事記では、スサノオはヤマタノオロチ(八つの頭と尾を持つ)との命がけの戦いで手に入れた太刀を、迷わず高天原を治めるアマテラスに献上する。この太刀は、皇室に伝わる三種の神器の一つ「草薙の剣」とされる。ヤマタノオロチを退治したスサノオが、文に優れた男神として描かれている点も見逃せない。

『八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣作る その八重垣を』

(妻を守るために、宮に幾つもの垣を作ったが、その八重垣を巡らせるように、出雲は幾重にも雲が湧いてきて美しい)

スサノオは、妻に迎えたクシナダヒメのため、日本最初の和歌を詠んだと古事記に描かれている。和歌は、朝廷で伝承され今も皇居で歌会始の儀が執り行われている。「日本人は、感動したり悲しんだり、心が動くときは必ず歌を詠みたくなる。歌会始の儀は、日本人の美しい心を守る大切なお勤めなんだと」。

#### ⑤大国主命「国譲り」

大国主の命は葦原中国と呼ばれた地上界を開拓した。天上界にいる天照大御神は、弟の須佐之男命の子孫であるオオクニヌシではなく、自分の子孫が地上界も支配すべきだと考え、国譲りを迫って神を3度派遣したが、拒まれ失敗。武神のタケミカヅチノミコを派遣する。タケミカヅチノミコは稲佐の浜(島根県出雲市)に降り立ち、波の上に突き刺した剣の上にあぐらをかいて威嚇した。オオクニヌシは国を譲る代わりに天空に聳えるほどの神殿を建てることを求める。オオクニヌシを祭る出雲大社の起源とする記述である。前出の中西名誉教授は言います。「高天原勢力」(大和王権)が最後は武力でオオクニヌシの出雲勢力を屈服させたとも読める国譲り。しかし、一方的な征服ではなく、穏やかに国は譲られたといえます。

#### ⑥天孫降臨

天照大御神は、タケミカヅチノミコからオオクニヌシノミコが国譲りを承諾したと聞き、長男のアメノオシホミノミコの子、ニニギノミコを降臨させることを決める。ニニギは天照大御神の孫なので、この降臨神話は天孫降臨と呼ばれる。「天照大御神がニニギノミコに授けたのは鏡の他に、勾玉と草薙の剣、後世に三種の神器」と呼ばれる品々である。別紙「解説」等を参考に供してください。

#### ⑦神武東遷

ニニギノミコは天照大御神の孫、ニニギノミコのひ孫がカムヤマトイワレヒコノミコ(後の神武天皇){何れの地に坐(いま)さば、平らけく天の下の政を聞こしめさむ。なほ東に行かむと思ふ}(どこなら安らかに天下の統治を行えるだろうか。東に都の地を求めようと思う。)イワレヒコは日向の高千穂で兄のイツセと相談し大和へ向かった。その道中においては苦難の連続であった。それでも天下を平定できたのは、天照大御神からの血筋と天上の神の加護を受けて国の礎を築くのに相応しかつたのだろう。「古事記」の上巻で描くのは神話の世界だが、中巻では歴史となる。神武天皇は神話と歴史の架け橋として登場しています。イザナキノミコ、イザニミノミコという男女の交わりによって誕生した日本は、天上の神々の意志を受けた「人間・神武天皇」の統治で、新たな国づくりが始まりました。

#### ◎余聞編

昭和54年1月、日本中を興奮させる発見がありました。奈良市の茶畑で火葬した人骨とともに、銅製の名板が入っていた「勳五等太朝臣安万呂(おおのあそみやすまろ)」。古事記の編者としてもお馴染みの奈良時代の文官、その人であったという。墓誌が発見されるまでは、「古事記」偽物説が盛んであったという。戦前の皇国史観の反動もあり、古事記は平安時代ごろの作とする研究者も多かったと言います。

最後に、真偽の程は置くとしまして「アルベルト・アインシュタインの予言」を披露しまして、私の卓話の時間を終えたいと思います。

「近代日本の発展ほど世界を驚かせたものはない。この驚異的な発展には、他の国と異なる何ものかがなくてはならない。果たせるかなこの国の、三千年もの歴史がそれであった。この長い歴史を通して、万世一系の天皇を戴いているいるということが、今日の日本をあらしめたのである。世界の未来は進むだけ進み、その間幾度の戦いが繰り返されて最後には戦いに疲れる時が来る。その時、人類はまことの平和を求めて世界的な盟主を挙げなければならない。この世界の盟主たるものは、金の力・武力ではなく、凡ゆる国の歴史を越えた最も古く尊い国を作って置いてくれた事を・・・」。

ご清聴、ありがとうございました。

## 本日のメニュー

～和食～

お刺身盛り合わせ 鮪 鯛 紋甲烏賊

油目の木の芽焼き

海老まんじゅう

鶏くわ焼き

鯛御飯 香物 お吸い物  
(春キャベツと鶏つくねの吸い物)

デザート さくら餅



## 次週のプログラム



第 1363 回例会 / 2014 年 4 月 9 日

- ◆挨拶  
チャオ・アム(相手男性) Chào anh  
チャオ・チ(相手女性) Chào chi  
(ベトナム語)
- ◆ロータリーソング 「友ら集いて」
- ◆卓話  
第9回クラブフォーラム  
米山奨学小委員会  
湯浅 隆之 委員長

## 重要なお知らせ

この度、クラブ事務局のメールアドレスを変更することになりました。

**新メールアドレス: [shin-osaka.rc@blue.plala.or.jp](mailto:shin-osaka.rc@blue.plala.or.jp)**

新メールアドレスは既に通してあります。  
尚、旧メールアドレス: [shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp](mailto:shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp)  
は4月末日をもちまして閉鎖致しますので、お早めに  
新アドレスへの変更登録をして下さい。

以上、お手数ですがよろしくお願い致します。

## \*\*\* エンブレムの囁き \*\*\*

1. あなたは私を信用して頂いて結構です。  
私は信用に値します。
2. 私の用意はできています。何時でも貴方  
のために奉仕できます。
3. 私は、受ける以上のものを貴方に与えます。  
私は人のために奉仕します。

## 予定表

月	日	曜日	予定	時間他
4	2	水	第1362回 例会 第8回クラブフォーラム 友好クラブ小委員会 谷口委員長	13:30～定例理事会
	9	水	第1363回 例会 第9回クラブフォーラム 米山奨学小委員会 湯浅委員長	13:30～第7回IM実行委員会
	10	木	社会奉仕事業 反射アームバンド配布 (淀川警察音楽隊の演奏の後)	15:30～ JR新大阪駅コンコース
	16	水	第1364回 例会 「ロータリーの歴史」 横山会長	13:30～絵画クラブレッスン
	19	土	2014-15のための地区協議会 13:00～ 於大阪国際会議場	次年度会長・幹事・委員長・地区委員出席
	20	日	歩こう会 竹内街道踏破記念特別企画「春の大和路散策」	3パターンあり(5ページに掲載)
	23	水	第1365回 例会 メンバー卓話 松本正会員	
	30	水	例会休会	MU受付12:00～12:30

イラスト提供: <http://www42.tok2.com/home/mayflower/>